

2021年度の目標（ゴール）

- 幕張新都心における自動運転車の社会実装に向けた課題の洗い出し（インフラ・技術・サービス）

下半期の取組み

【取組み】

（第4回WG）2021年12月22日（水）

<アジェンダ>

- 中間まとめ報告の振り返り
- 今年度の自動運転実証実験について
- 実用化に向けての検討事項

<主な意見>

- 実用化を2025年度に設定した場合、課題の多い海側より山側が現実的に感じる。
- 急ブレーキに因る車内の転倒事故への対応等、通常有人で対応すべき事象など技術的な課題も多い。
- 国のロードマップと合わせての実用化に関しては、情報を連携しつつ可能な限り援護できれば。
- サービス事業視点で、自動運転は24時間走行が可能で様々なニーズが拾えるものと認識している。

交通需要等の採算性の検討も重要だが、移動を担保することでの総合的な価値の創出として検討するべき。

【取組み】

(第5回WG) 2022年2月18日(金)

<アジェンダ>

- 自動運転バス実証実験の実施報告
- 総会に向けたWGの成果報告について
- アンケート(実用化への検討事項)結果の共有について

<主な意見>

- 自動運転導入の目的、得たい成果から逆算したルート設定が必要。海側、山側それぞれの特徴があるため、インフラ整備等のコストを把握した上でどちらから導入するか決定すると良い。
- インフラ整備は自治体が主体となって検討すべき。2025年の実装を見据えると、実証期間も含めて早期の整備方針の決定が必要。
- 持続可能なビジネスモデル構築には、運賃のみの収入は困難。広告や利益を享受する民間負担、一定の自治体支援が必要。

(自動運転バス実証実験)

1月15日(土)～16日(日)で実施。別途資料にて概要説明。

他WG依頼の意見、検討事項への回答

【依頼WG】

モビリティ利活用WG

【意見、検討事項】

(各WGで実施される実証実験のデータ提供について)

- 回遊性の向上のために、WGごとに行った実証実験のデータ（例えば、走行実績、走行ルート、ヒートマップ、ヒヤリ・ハット、アンケート結果、その他実証実験で見えてきた幕張新都心における課題）について、WG内で意見交換を行った上で、その結果をモビリティ利活用WGへ提供してほしい。

【回答】

- 自動運転バス実証実験

1月15～16日の実証実験結果については、通信状況等の課題も判明し、アンケート内容も踏まえて現在整理中。

共有できるタイミングでコンソーシアム内へ展開したい。

2021年度検討とりまとめ

(自動運転導入に向けて)

- 実証実験を通じて、「地域の社会受容性の向上」や「一定の地域ニーズの把握」が成果として確認できた。
一方で、幕張新都心での導入を見据えた際の環境面（GNSS通信、道路交通など）の課題も判明。
- 現時点で、交通渋滞や速度の異なる多車線での自動運転バスの共存について、安全面を考慮した場合、手動介入が必要となる。
→インフラ整備等でどこまで安全性を確保できるか。
- 事業化を想定した際の持続可能性を考慮し、WG内で検討した結果、共通の課題として、「ルート選定」、「インフラ整備」及び「ビジネスモデル構築」の3つの課題をクリアする必要があることを認識。
これらの課題はすぐに解決できるものではないものの、事業化に向けて検討すべき事項である。

【導入に向けた課題】

- 1 ルート選定（どこで実施するか）
- 2 インフラ整備（何が必要か）
- 3 ビジネスモデル構築（どう運営するか）

今後（2022年度～）の検討事項

（ルート選定について）

- エリアを絞り、集中的に検討

→実証実験を実施した「幕張豊砂駅を中心とした海側エリア」、

若葉住宅地区の開発等、新たなニーズの見込める「海浜幕張駅を中心とした山側エリア」

上記2パターンを中心に実用化すべきルート選定の検討を進める。

（インフラ整備について）

- 整備に対する費用対効果等、専門的に検討

→企業等へのヒアリングやより専門的な調査を通じて、具体的に検討を進める。

どのレベルのインフラ整備がどの範囲まで必要か、横展開の可能性も考慮する。

（ビジネスモデルの構築について）

- 運営に必要となる役割や費用を、多角的に検討

→ 運行管理費、人件費、道路インフラ維持管理費等、実用化によって発生する費用を特定し、事業化した際の

関係者（自治体、企業等）の役割分担や費用負担の在り方を議論したい。

（実証実験について）

- 今後も様々なケースや需要の見込めるルート等で継続的に実証実験を実施し、フォローアップしていく。

- 技術レベルの高度化も含めて、より実用化を想定した実証の実施を検討する。

2021年度の目標（ゴール）

- 幕張新都心におけるマイクロモビリティの2023年度時点でのあるべき姿の明確化と課題の抽出
- 2022年度の検討項目洗い出し/実証実験実施方針策定

下半期の取組み

【PTの取組み】

■ サービス検討PT

- ・書面にて随時開催

■ 安全性検討PT

- ・2022年2月4日（金）実施

→ 別途記載

■ モビリティ検討PT

- ・2021年11月17日（水）：現地視察実施

→ 幕張新都心エリアの各地区（職/遊/学/住）の移動の現状の把握

- ・2021年12月9日（木）：web開催

→ 将来目標と来年度の実証計画案の検討

下半期の取組み

・第5回WG：2022年2月8日（火）

<アジェンダ>

- ・WGのこれまでの取組み
- ・PTの取組み状況報告
- ・WGとしてのまとめ、第3回総会に向けた報告案
- ・電動キックボード実証実験報告・意見交換
- ・パーソナルモビリティ等の実証実験説明

<主な意見>

来年度以降の検討項目としては以下のような意見があった

- ・実証実験アプリなど、様々な媒体を通して、来街者への街中サービス情報の提供による行動変容調査
- ・モビリティの安全性に関して、実証実験に積極的に参画し、リスクアセスメントの実施、ヒヤリ・ハット/事故情報の収集・分析を行う
- ・幕張地区の海側で観光目的ベースでの多様なモビリティハブを作り実証を通じてさまざまなユーザと多様なモビリティの導入における

課題の深堀を行う

他WG依頼の意見、検討事項への回答

【依頼WG】

モビリティ利活用WG

【意見、検討事項】

(各WGで実施される実証実験のデータ提供について)

- 回遊性の向上のために、WGごとに行った実証実験のデータ（例えば、走行実績、走行ルート、ヒートマップ、ヒヤリハット、アンケート結果、その他実証実験で見えてきた幕張新都心における課題）について、WG内で意見交換を行った上で、その結果をモビリティ利活用WGに提供してほしい。

【回答】

- 電動キックボード実証実験

2021年4月～10月の実証実験については、利用実績、ヒートマップ、課題などが見えてきたため、その結果を共有する。

- パーソナルモビリティ実証実験

2022年2月に実証実験を実施しているため、実証終了後、その結果を共有する予定。

他WG依頼の意見、検討事項への回答

【依頼WG】

M a a SプラットフォームWG

【意見、検討事項】

(M a a Sプラットフォーム構築に求められるデータの提供について)

●モビリティや移動目的となる商業・観光施設だけではなく、人流、決済や医療等の多分野でのデータ連携により、新たなサービス創出が期待される。その実現に向けて、各WGで議論されている対象に関して、どのようなデータ（ジャンル、項目、内容、形式含む）が提供できるか検討いただきたい。

【回答】

- マイクロモビリティに関する各種データ（利用実績、ルール順守度、移動ルートなど）
- 混雑情報のデータ（500mメッシュでの混雑状況など）

2021年度検討とりまとめ

幕張新都心で目指すモビリティの構想

1. 都市の魅力向上に資する交通サービス

- a. シェアサイクルや次世代型パーソナルモビリティなど多様なモビリティ普及（乗ることを楽しむ）
- b. 地域イベントや近隣施設と連携し移動のきっかけを創出

2. 地域の暮らしを支える交通サービス

- a. 幕張豊砂駅を中心とした交通機能の分散（混雑回避）
- b. 様々な交通手段に対してマナー啓発/ルール周知を徹底し安心・安全に移動できる

2021年度検討とりまとめ

あるべき姿

1-a) 「多様なモビリティの共存都市」

さまざまなユーザーがニーズにマッチした多様なモビリティを選択し、決められたルールの中で快適、安全を確保しながら移動が活性化された新モビリティ文化発信基地（モビリティ検討PT）

1-a) 環境に配慮した移動手段が提供されている（事務局記載）

1-b) 幕張メッセ来訪者を対象とした、近隣飲食店や施設などにおける、目的/趣味嗜好に合う交流会や各種イベントなど、滞在時間増加や振興を目的とした街中マッチングサービス（サービス検討PT）

2-a) 来街者が少ない日時においては、地元の方々が安価かつ優先的に利用など、地元根ざすモビリティのサービス化（サービス検討PT）

2-b) 利用実績および順守具合に基づく、信用スコアなどによる利用者の区別。街滞在中を包含する保険の開発と、金額差異の設定（サービス検討PT）

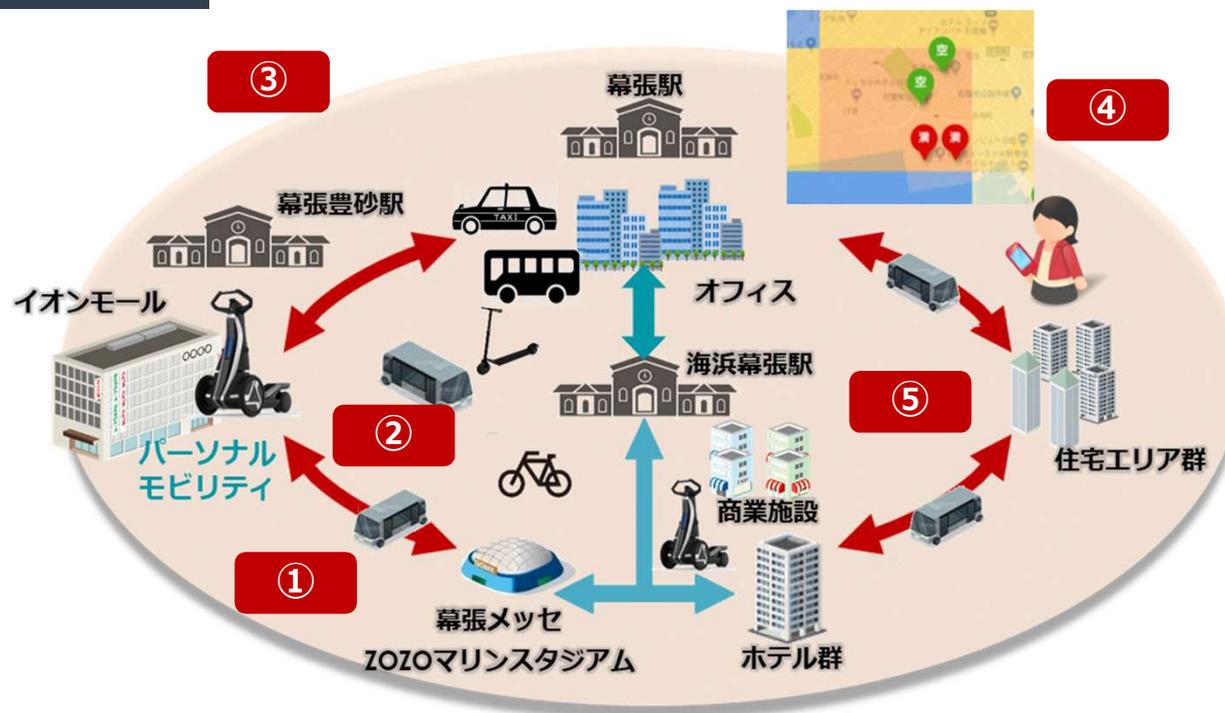
2-b) ユニバーサルデザイン（こども、高齢者、障害、外国人等）に配慮し、多くの方が安全に利用できる環境が整備されている（安全性検討PT）

2-b) 複数のモビリティが走行する実証実験にリスクベース視点でアセスメントが実施され、ヒヤリ・ハット/事故情報の収集・分析が実施されている（安全性検討PT）

2-b) 上記で得られた情報をベースにルール（マニュアル）の「適合性」「有効性」が検証されている（安全性検討）

今後(2022年度~)の検討事項

2023年度に目指す姿



- ① 幕張メッセやzozoマリスタジアムなど街の魅力を活かした**移動のきっかけを創出**、住民や来街者に対して**周知できる仕組み**の提供
- ② **屋内外**におけるシームレスな移動手段の提供
- ③ 各種データを連携できる**PFの提供**
- ④ 新たな移動手段に対して、**安全安心**に移動できる仕組みの提供 (withコロナ) 満空情報、人流データ予測
- ⑤ 脱炭素に向けた交通手段等の提供 (充電ポートの設置など)

今後（2022年度～）の検討事項

- ①-1. 実証実験アプリなど、様々な媒体を通して、来街者への街中サービス情報の提供による行動変容調査
- ①-2. 街中マッチングサービスイメージに基づく、イベント会場と連動した飲食店などでの場所提供や、その効果に関する調査
- ②-1. 様々なスローモビリティにアクセスが可能なモビリティハブを域内にきめ細かく配置する
- ②-2. 幕張地区の海側で観光目的ベースでの多様なモビリティハブを作り実証を通じてさまざまなユーザと多様なモビリティの導入における課題の深堀を行う
- ②-3. 海側での観光目的で新しいモビリティへのハードル「知らない、分からない、面倒くさい、怖い、恥ずかしい」を下げてスタート定着してきたら商業区住宅区といった生活に密着した地区に展開していく
- ③-1. 地域の情報をメタ空間等でリアルに表示する、デジタルマップの整備
(チャットポット機能等を連動する事で、移動ニーズや課題等の来訪者のインサイトを取得して分析する)
- ④-1. 街中滞在時をカバーする保険サービスの検討（リスク分析などを含む）
- ④-2. 当該コンソーシアムで実施される実証実験に積極的に参画し、リスクアセスメントの実施、ヒヤリ・ハット/事故情報の収集・分析を行う
- ④-3. 地域住民アンケートを実施し、アンケート結果から得られた情報（課題等）をベースにルール（マニュアル）の改善を図る
- ⑤-1. 自家用車から公共交通利用への転換促進可能性に関する検討
(駐車場契約を持つ世帯への、公共交通利用促進施策の提供など)

2021年度の目標（ゴール）

- 幕張新都心における自動走行ロボットを活用したサービス実証

下半期の取組み

【取組み】

（第3回WG）2021年10月8日（金）

＜アジェンダ＞

- 実証実験の進捗状況について
- 意見交換
- 公募について

＜主な意見＞

- 実際の実証実験で安全対策として、どの程度の人混みまで対応できるのか検証が必要となる。
- 無人移動販売以外の様々なニーズへの対応も可能な限り検討していく。

下半期の取組み

【取組み】

● 幕張新都心における自動走行ロボットによる配送サービス実証実験

- 実証期間：2022年3月上旬～3月末（予定）
- 実施場所：幕張ベイパーク周辺

本件については、京セラコミュニケーションシステム株式会社がプロジェクト提案を実施

プロジェクト参加企業：イオンスタイル幕張ベイパーク店、損害保険ジャパン株式会社

＜実証サービスの特徴＞

- 近隣の小売店で購入した商品をお住まいのマンションまで配達
- 小売店と配達先のマンションを定時巡回するコースで走行
- 指定の停車位置で荷物の積込、受取を実施
- 利用者はスマートフォンとロボット搭載のタッチパネルを活用してロッカーを操作。



他WG依頼の意見、検討事項への回答

【依頼WG】

モビリティ利活用WG

【意見、検討事項】

(各WGで実施される実証実験のデータ提供について)

- 回遊性の向上のために、WGごとに行った実証実験のデータ（例えば、走行実績、走行ルート、ヒートマップ、ヒヤリ・ハット、アンケート結果、その他実証実験で見えてきた幕張新都心における課題）について、WG内で意見交換を行った上で、その結果をモビリティ利活用WGへ提供してほしい。

【回答】

- 自動走行ロボットを活用した配送サービス実証実験

3月上旬～下旬にかけて、予め募集したモニターを対象に配送サービスを実施。利用者や協力頂いた店舗・企業を対象にアンケート（主に地域ニーズや希望する利用形態等）を実施するため、その結果を4月以降に共有する予定。

2021年度検討とりまとめ

(サービスロボットの活用について)

- 幕張新都心では来街者や住民が多いため、自動走行ロボットの様々な利用シーンが考えられる。

→今年度は配送を実施。実証を通じて、地域に応じたニーズを把握する必要がある。

- 状況やサービスに応じたロボットの使い分けや他サービスとの連携を考える必要がある。

例：マンション自宅への配送時の小型配送ロボットの活用。

自動運転WGとの連携した実証実験の実施。

- ロボットを走行する際は安全対策が最重要課題となる。

(実証実験について)

- 自動走行ロボットを活用した配達サービスの効率性、利便性、有効性を評価する。

- アンケート調査を通じて、地域の受容性を評価する。

今後（2022年度～）の検討事項

（サービスロボットの活用について）

- 地域のニーズを把握し、期待に応えるロボットを活用したサービスの検討

→実証実験の実施前であるが、モニター募集の段階で希望者数が想定を大きく上回り、改めて地域のモビリティサービスへの関心の高さを感じたところ。あらゆる可能性に、視野を広げて検討を進めたい。

- ロボット走行の安全性を高める施策

→技術面の開発の他、道路のインフラ整備等のハード面の環境整備の必要性も検討したい。

自動運転WGとの連携を希望。

（実証実験について）

- 自動走行ロボットを活用した移動販売サービス等を検討

→配送サービスに対する期待感は、既に確認済。より良いサービス提供のため、年間を通した実証の実施を検討。

<まとめ>

- 分野に限らず、多くのユースケースが想定されるため、各WGと連携した実証の検討が必要。

2021年度の目標（ゴール）

- 域内交通の最適化に向けた検証
- 各団体の課題や資源、ニーズを把握

下半期の取組み

【P Tの取組み】

■拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討P T

○第2回P T：2021年11月30日（火）

・アジェンダ

- 1 検討内容の整理
- 2 2021年度スケジュール
- 3 コンテンツについて
- 4 モビリティについて
- 5 株式会社ドコモCSさまのプロジェクト提案書について
- 6 サービスインに向けてのスケジュール

・結果まとめ

- ・今後の進め方…モビリティを整備するだけでは回遊性を高めることはできないので、移動する目的であるコンテンツとモビリティの整備を両輪として回遊性向上に取り組む。
- ・今年度の目標…2022年度に予定される実証実験のコンテンツとモビリティの案についてまとめる。
- ・幕張新都心の住民も参加でき、エリア外のお客さまを迎え入れるコンテンツを検討する。
- ・各モビリティには長所と短所があるので、それぞれの特徴を補完し合う移動環境の構築に取り組む。
- ・株式会社ドコモCS様より、2月からの実証実験についての紹介。

下半期の取組み

【PTの取組み】

■拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PT

○第3回PT：2021年12月21日（火）

・アジェンダ

- 1 コンテンツについての検討
- 2 モビリティの検討
- 3 次回PTに向けての検討課題
 - ・幕張新都心エリアでの“伸ばしたい”“伸ばせる”ユースケースの検討
 - ・パーク&ライド（情報提供・駐車場の把握・企業としてのメリット

・結果まとめ

【コンテンツ】

- ・①複数イベントを同時多発的に組立てる②街全体を一つのテーマでジャックするなどのイベントを開催することで回遊性を高める
 - but…イベント開催日以外の回遊性をどう高めるかが課題となってくる。
- ・日々のユースケースから必要なモビリティを考える。

【モビリティ】

- ・既存交通と補完し合うモビリティのイメージを共有。

下半期の取組み

【P Tの取組み】

■拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討P T

○第4回P T：2022年1月19日（水）

・アジェンダ

1 コンテンツについて

- ・伸ばしたいユースケースについて
- ・各施設の可視化

2 モビリティの検討

- ・ユースケースから考える各モビリティの利用イメージ
- ・オンデマンド交通の各要素の検討
- ・シェアサイクル、駐車場の可視化
- ・駐車場の利活用について

・結果まとめ

【コンテンツ】

- ・日々のユースケースから必要なモビリティを検討する。
→年数回のイベントやスタンプラリー、電子チケット等でさらなる活性化を図る。
- ・各施設を可視化し、日々のユースケースを深掘りする。

【モビリティ】

- ・ユースケースから考える必要なモビリティについて認識合わせ。
- ・オンデマンド交通の各要素（運行するエリア・台数・時間帯など）にあたり、株式会社ドコモCS様との意見交換。
- ・駐車場利活用（パーク&ライド）に関して、akippa様より駐車場シェアリングサービスのご紹介。

下半期の取組み

【P Tの取組み】

■モビリティ資源の最適化・共有化の可能性検討P T

○第2回P T：2022年1月13日（木）

・アジェンダ

- 1 P Tの最終目標・テーマの再確認
- 2 今後の進行予定
- 3 「【資源P T】各社モビリティ状況ヒアリング」の結果
- 4 最終目標の提案

・結果まとめ

- ・「シェアサイクル」「送迎バス」が各施設にとって評価の高い交通手段であることが分かった。
回遊ルートの想定は「駅-イオンモール-マリスタジアム」が多く、グーグルマイマップを作成した。
- ・回遊性には買い物の荷物が課題であり、解消スキームとして「パーク&ライド」や「帰る際に駅で荷物を受け取るサービス」が挙げられた。
- ・自動運転バスも検討すべきだが直近は「小型モビリティ」「デマンドタクシー」など確実に運行できるものを最優先にすべきと意見があった。

下半期の取組み

【PTの取組み】

■モビリティ資源の最適化・共有化の可能性検討PT

○第3回PT：2022年1月28日（金）

・アジェンダ

- 1 ①成果物（可視化資料）のイメージ 協議
- 2 ②今あるモビリティ資源で解消できそうな課題 協議
- 3 パーク&ライドの可能性について
- 4 次回予定

・結果まとめ

- ・成果物となる可視化資料はグーグルマイマップ

<https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1BnXF9MK77Rg9o3Mlnx13b6jn3EzseeED&usp=sharing>
で作成する。

- ・課題は「バスの空席や駐車場の空きなど使われていない資源の活用」「バスルート被りやシェアサイクルポートの配置など資源の効率化再考」「時間帯別利用者数等を把握したうえで共同運行を視野に入れた改善の検討」に分類された。
- ・パーク&ライドについて次回以降から検討することとした。

下半期の取組み

【WGの取組み】

○第4回WG：2022年2月15日（火）

＜アジェンダ＞

- WGのこれまでの取組み
- 各PTの取組み状況説明
 - ①拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PT
 - ②モビリティ資源の最適化・共有化の可能性検討PT
- 第3回総会に向けたWGとしてのまとめ

＜主な意見＞

- 回遊性向上のためには、モビリティの整備だけではなく、コンテンツと併せて取り組むことが必要であることを共有。
イベント等を含めた日々のユースケースからふさわしいモビリティを今後検討する。
- 資源の最適化・共有化に当たって、まずは可視化したグーグルマイマップを共有。今後はバスや駐車場の空きなどの課題に対し、どのように取り組むか具体的な素案を作成する。

他WG依頼の意見、検討事項への回答

【依頼WG】

マイクロモビリティWG

【意見、検討事項】

(検討項目)

- 移動の目的を創出するためのサービスの検討/認知向上の仕掛け

(背景)

- マイクロモビリティWGのサービス検討PTでも議論しているサービス内容について、WG間で連携しながら検討を進めたい

【回答】

- 移動の目的を創出するためのサービスとして、各施設を回ってもらうためのイベント（複数イベントの組立てや一つのテーマで街全体をジャックするなど）や電子チケットの配布、スタンプラリーなどを実施していくことも有効と考えるが、イベント開催日以外でも移動の目的を創出することが必要であるため、日々の生活や来街者についてのユースケースを描くことが大事である。

他WG依頼の意見、検討事項への回答

【依頼WG】

サービスロボットWG

【意見、検討事項】

(検討項目)

- 自動走行ロボットを活用したサービスのニーズ調査やご協力について

【回答】

- 本年度のWG、PTにおいては、自動走行ロボットの活用を想定した議論を行っていないため、上記項目の検討は行っていない。次年度以降に機会があれば検討する。

他WG依頼の意見、検討事項への回答

【依頼WG】

M a a SプラットフォームWG

【意見、検討事項】

(M a a Sプラットフォーム構築に求められるデータの提供について)

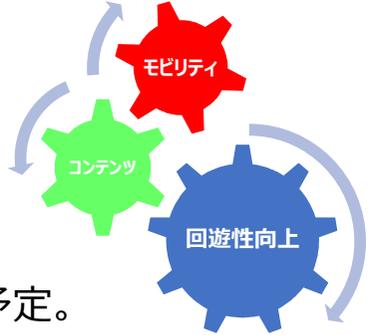
●モビリティや移動目的となる商業・観光施設だけではなく、人流、決済や医療等の多分野でのデータ連携により、新たなサービス創出が期待される。その実現に向けて、各WGで議論されている対象に関して、どのようなデータ（ジャンル、項目、内容、形式含む）が提供できるか検討いただきたい。

【回答】

●幕張新都心における既存のモビリティ資源のデータ（シェアサイクルや電動キックボードのステーション、駐車場などの所在地に関する情報、送迎バス・路線バスの時刻表、ルート、バス停などに関する情報及びこれらの情報を示したマップデータ)

2021年度検討とりまとめ

2021年度のゴールに向けて2つのPTを中心に整理した。なお、3月にWGを開催し、年度の最終とりまとめを行う。
(域内交通の最適化に向けて)



■モビリティの整備だけでは回遊性は向上しない。

移動する目的である「コンテンツ」と「モビリティ」の整備を両輪として回遊性向上に取り組む必要がある。
なお、2022年度に予定されているMaaS実証実験において検討すべきコンテンツ案とモビリティ案を取りまとめる予定。

コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツとしてはイベント、ユースケース、電子チケット、割引サービスなどが考えられる。→イベント、電子チケット、割引サービスについてもユースケースの一部。※イベントは毎日開催できるものではなく、イベント開催日以外の回遊性向上についても重要な課題である。 日々の生活や来街者についてのユースケースを描く = 持続可能な移動環境を構築するため、日々のユースケースからふさわしいモビリティを考える。 ・来街者に来てほしい施設がユースケースの中にあって、その施設を回ってもらうためのイベント、電子チケット、スタンプラリーを実施していくというイメージになるか。そのイベントのイメージが①複数イベントの同時開催、②街全体を一つのテーマでジャックするといったもの。 ・イベント実施にあたっては、地域で協力し、幕張新都心地区内の回遊を促す仕掛けを取り込んだものとする。
モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・既存交通と補完しあい、地域の回遊性を高めるモビリティのイメージを共有。 ・住民の生活を豊かにする日々のユースケースを想定し、必要なモビリティの検討を実施。 ・オンデマンド交通の要素詳細については、「千葉市幕張MaaS実証」の状況も参考に今後検討を進める。 ・モビリティそのものではないが、駐車場の利活用（パーク&ライド）に関して事例検討。

まくはりの夏休み(仮称)

▶ターゲット：京葉線沿線、海浜幕張の住民(30~40代ファミリー層)
▶企画内容：各スポットで共通テーマのもとイベントを開催
→同時にお得な電子チケット、スタンプラリーや各スポット間をめぐるモビリティを提示していく
▶コンテンツ案

■屋台(夏グルメ・海浜幕張グルメ)



■縁日(子どもが楽しめるコンテンツ)



街全体を一つのテーマでジャックした例

■夏のアクティビティ&リフレッシュ



■イベント(盆踊り、ランタン...)



▶類似のイベントテーマ：ハロウィーン、クリスマス

既存モビリティと補完し合い、面的な移動環境を提供

幕張本郷駅

幕張駅

幕張新砂駅

海浜幕張駅

幕張本郷駅 → 路線バス

幕張駅 → 路線バス (本数少ない) → 直通的シャトルバス オンデマンド交通

海浜幕張駅からの移動 → 路線バス

ふさわしいモビリティのイメージ

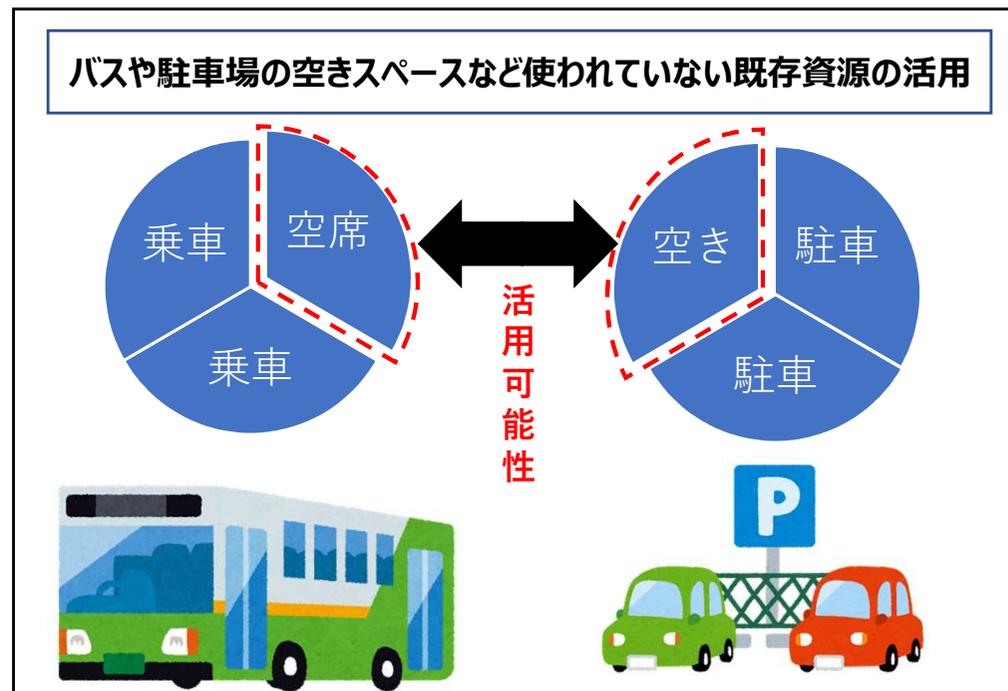
〈来街者〉マイカー → 駐車場の利活用 (パーク&ライド)

街中の移動 (来街者・住民) シェアサイクル (の拡充) 循環バス オンデマンド交通 電動キックボード

2021年度検討とりまとめ

(各団体の課題や資源、ニーズの把握)

- ヒアリングシートから、幕張新都心で活動する中で抱える「移動」に関する課題として、「施設間の移動困難」、「駐車場が不足」、「イベント時に混雑が発生」、「モビリティの利用方法がわからない」、「イベント以外に来訪目的がない」といった課題が多いことがわかった。これらの課題解決に有効と考える取組みとして、「デマンドバス」と「マイクロモビリティ」、「施設間で協力し合うバス」、「モビリティが一目でわかる案内・MaaSの導入」、「駐車場の利活用」の取組みが多いことが可視化された。
- ヒアリングの結果、「シェアサイクル」と「送迎バス」が各施設にとって評価の高い交通手段であることが分かった。
- 成果物となる**モビリティ資源等の可視化資料をグーグルマイマップで作成する。**
- 課題は以下の3つに分類された。
 - ①バスの空席や駐車場の空きなど使われていない既存資源の活用。
 - ②バスルート被りやシェアサイクルポートの配置など既存資源の効率化再考。
 - ③時間帯別利用者数等を把握したうえで共同運行を視野に入れた改善の検討。
- 買い物の際の荷物や施設周辺の渋滞解消のため、パーク&ライドについて今後検討することとなる。



今後（2022年度～）の検討事項

モビリティの利活用を進めるため、2021年度のP Tの取組みをベースに、2022年度も「回遊性の向上」及び「モビリティ資源の最適化・共有化」に向けた取組みをより加速化させていく。

（回遊性の向上に向けた取組み）

- 2022年度に予定されているMaaS実証実験について、実施に伴い回遊性の観点から分析を行う。

また、分析の結果、必要に応じてコンテンツ案やモビリティ案についてブラッシュアップした取組みの提案を行ったり、取組みの継続可否も検討したりする。

（モビリティ資源の最適化・共有化に向けた取組み）

- 2021年度にP Tでまとめたモビリティ資源の最適化・共有化の具体案（素案）を基に、実現に向けて対外的な調整を開始し、既存バスの改善実施やモビリティステーション用地の確保などに取り組む。

2021年度の目標（ゴール）

- MaaSに求められるデータの状況を整理（オープン化）

下半期の取組み

【取組み】

（第4回WG）2021年12月2日（木）

<アジェンダ>

- 新規会員紹介
- 千葉市地域公共交通計画について（話題提供）
- 検討中間まとめ報告会の振り返りについて
- 幕張新都心版MaaS構築に向けた検討事項の整理
- 幕張新都心版MaaS移動実態調査等業務委託（千葉市事業）の進捗状況

下半期の取組み

(第5回WG) 2021年12月21日 (火)

<アジェンダ>

- 幕張新都心版MaaSに必要な要素について

<主な意見>

- MaaSはあくまでも手段であり、利用者視点でつくることが重要。
- モビリティだけでなく、様々なサービスとMaaSが連携できるようにすべき。コンソーシアムに参画していない企業も含めた連携もしていくことが必要。
- MaaSを導入するにあたって海浜幕張駅や幕張豊砂駅を中心としつつ、幕張駅や新習志野駅なども視野に入れることが重要。

下半期の取組み

(第6回WG) 2022年1月18日 (火)

<アジェンダ>

- 幕張新都心版MaaSにて果たせる役割について

<主な意見>

- エリアによって解決しなければならない課題があると認識。様々な利用者が幅広く利用できるようなプラットフォームが求められる。
- 関連分野サービスを充実させていくことが、ビジネスモデルの構築には重要。
- 既存のモビリティも多く走行しているエリアなので、それらと連携しつつ、利用者の利便性が高まるようになってほしい。

(第7回WG) 2022年2月10日 (木)

<アジェンダ>

- 幕張新都心版MaaSにて創造できる価値について
- 幕張新都心版MaaS移動実態調査等の進捗状況について

2021年度検討とりまとめ

(MaaSに求められるデータについて)

- 幕張新都心版MaaS移動実態調査等とも連携し、幕張新都心における回遊を含む移動実態を把握した。
 - トリップ目的は平日は業務、休日は買物が最も多く、来訪施設数は平日・休日ともに全体の6割前後が1箇所となっている。
 - 各会員のMaaSに関連するデータ状況を確認するとともに、MaaS構築に向けたレイヤーの精緻化を行った。
- ※上記調査等の最終結果は2021年度末にとりまとめる予定。

(幕張新都心版MaaS構築について)

- 2023年春の幕張豊砂駅開業時のサービス実装を見据え、幕張新都心版MaaSにて実現することや考えられる座組の整理を進めた。
- 必要な要素としては、5つの要素（MaaS本体、モビリティサービスに関すること、関連分野サービスに関すること、予約・決済に関すること、移動実績に関すること）と特定した。
- 各要素に含まれるべき内容及び各会員が果たせる役割としては、以下のとおり。
- 構成要素、価値、効果、優先度及び実装すべき時期の観点から、24のMaaSにて創造できる価値の姿を明らかにした。

2021年度検討とりまとめ

【MaaS本体（プラットフォームを含む）に関すること】

＜各要素に含まれるべき内容＞

連携に関すること、データの利活用、利用者視点

＜果たせる役割＞

プラットフォーム提供、MaaS本体とのアプリケーション・データ連携

【モビリティサービス（公共交通機関、マイクロモビリティ）に関すること】

＜各要素に含まれるべき内容＞

多様な選択肢、エリア特性、諸条件を加味した提案

＜果たせる役割＞

モビリティ提供、システム提供、フィールド提供

2021年度検討とりまとめ

【関連分野サービス（エネルギー、インフラ、不動産、保険、医療、飲食、宿泊、観光、小売、物流、教育、環境等）に関すること】

＜各要素に含まれるべき内容＞

サービス間連携、滞在時間、訪問施設数を増やす仕掛け、域内資源との連携

＜果たせる役割＞

サービス提供、サービス周知・広告

【予約・決済に関すること】

＜各要素に含まれるべき内容＞

各利用者による選択、1IDでの完結、サービス内容・情報の取扱い

＜果たせる役割＞

システム提供

2021年度検討とりまとめ

【移動実績に関すること】

＜各要素に含まれるべき内容＞

必要とする移動実績の整理、データの可視化、活用、行動変容を促す仕組み

＜果たせる役割＞

データ提供、関連情報分析

今後（2022年度～）の検討事項

（幕張新都心版MaaSの実装について）

- 2023年春に予定されている幕張豊砂駅開業時のサービスインに向けた検討を進める。
- 具体的には、2022年度第3四半期以降にサービス実証実験を行うべく、当該実証実験の要件整理を行う。
- 上記整理にあたっては、幕張新都心版MaaS移動実態調査等の結果を踏まえ、MaaS関連データの状況や連携意向も加味する。
- 実証実験後は、結果検証やサービス実装に向けたブラッシュアップに参画する。
- 中期的には、コンテンツ拡充やデータ連携等により、サービスの拡大を図る。